

# 令和元年度事業計画書

## 1 貸付事業の実施

### (1) 畜産高度化推進リース事業

畜産高度化推進リース事業として、畜産経営における家畜排せつ物の適切な処理と利活用の推進、畜産経営の健全な発展、食肉及び生乳の流通の合理化のために必要な施設等を以下のとおり貸し付けるとともに、既貸付に係る基本貸付料等の回収等を行う。

貸付施設等購入額	畜産高度化支援リース事業として 2, 8 0 0, 0 0 0 (2, 3 5 5, 0 0 0) 千円 うち畜産環境対策リース事業 1, 3 0 0, 0 0 0 千円 (消費税込み)
----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------

注1：金額は、新規購入額ベースである。

注2：（ ）内は、前年度予算額である。

注3：平成29～30年度に実施した畜産経営環境対応強化緊急対策事業（環境・衛生リース）については、今年度から、畜産高度化推進リース事業の一部である畜産環境対策リース事業（1, 3 0 0, 0 0 0 千円）として実施する。

### (2) ①畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）（畜産クラスターリース）及び畜産経営体生産性向上対策事業（畜産 ICT リース（旧楽酪リース））並びに②酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業（楽酪 GO リース）、肉用牛経営安定対策補完事業及び畜産経営災害総合対策緊急支援事業

①国の補助事業として、畜産クラスター計画を実施する畜産クラスター協議会に所属する経営体に対して地域の収益性向上等に必要な機械等を貸し付ける、又は、「スマート農業の推進」を目的とし、同時に畜産農家の省力化・生産性向上に資する機械装置を貸し付ける、並びに②独立行政法人農畜産業振興機構の補助事業として、酪農を営む者に対して労働負担軽減に資する省力化機械装置と併せて一体的な施設を貸し付ける、肉用牛経営を営む生産者集団等に対し繁殖雌牛の増頭に資する整備として、簡易牛舎等を貸し付ける、又は、生産者集団等が災害等による停電時に畜産経営の継続を図るための非常用電源を貸し付けるとともに、基本貸付料等の回収等を行う。

貸付施設等購入額	1, 2 0 0, 0 0 0 ( 8 8 0, 0 0 0) 千円 (消費税込み)
----------	-----------------------------------------------

注1：（ ）内は、前年度の予算額である。

注2：貸付施設等を購入するに当たっては、①国の補助事業である畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業及び畜産経営体生産性向上対策事業並びに②独立行政法人農畜産業振興機構の補助事業である酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業、肉用牛経営安定対策補完事業及び

畜産経営災害総合対策緊急支援事業に基づき、借受者の負担を2分の1に軽減する措置を行うものとする。

(3) 債権管理の的確な実施

貸し付けたリース債権の適正な管理及び処理を行う。

(4) その他

リース物件によるふん尿の処理・利用等について現地指導・調査等を実施する。

2 情報の提供

(1) 畜産関係機関等への情報の提供として、当機構のホームページに「畜産環境情報」を掲載する。

(2) インターネットホームページの運営

当機構で開設しているインターネットホームページについて、当機構の業務内容を紹介するとともに畜産環境保全に関する情報を掲載し、適時最新情報に更新する。

(3) 畜産環境問題に関する研修事業

民間会社等の関係者を対象に畜産環境問題に関する研修会を実施し、関連情報を提供する。

3 日本型悪臭防止最適管理手法を用いた畜産悪臭苦情軽減技術開発普及事業

畜産経営の存続に急務となっているわが国の畜産悪臭軽減対策のため、JRA事業において「BMP（最適管理手法）活用畜産悪臭苦情軽減技術開発普及事業」を行い、畜産悪臭軽減対策の手引き書として「日本型悪臭防止最適管理手法」を作成したところである。

これらの技術開発は、畜舎の一部を使った小規模試験であることから、畜舎全体を対象とした実証農家での日本型悪臭防止最適管理手法の効果確認を行うことで、畜産農家における悪臭対策を効果的に行い生産コストの低減や、農場内労働環境の改善を通じ、畜産物の生産システムの高度化に資する。

4 高機能型異種堆肥造粒物の調製・混合利用技術の開発普及事業

家畜排せつ物法に基づく基本方針において、堆肥の成形化等による広域的利用を図るための取り組みが求められている。また、グローバルGAPを背景に化学肥料の使用低減等を目指すエコ農業への関心が高まっている。

このため、①肥料成分・肥効特性の異なる畜種別堆肥の簡易・低コスト造粒物調製技術の開発、②畜種別堆肥の造粒物の混合利用による施肥設計手法の開発、③畜種別堆肥の造粒物を混合施肥した作物栽培技術の実証を行い、化学肥料に依存しない環境保全型農業に資する情報提供を行う。

## 5 畜産汚水の発生・浄化における軽労型窒素低減システム開発・普及事業

畜産排水の規制強化に対応して、排せつ物管理及び汚水処理の軽労化と高度化を図るため、畜舎から排出される汚水を窒素除去に適した水質性状に改善し、汚水浄化作業の軽労化と窒素除去能の向上を目指す自動制御システムの開発、硝酸性窒素濃度の季節変動による濃度上昇期のピークカット処理技術を開発し、普及を図る。

## 6 畜産環境対策技術総合設計基準調査普及事業

家畜排せつ物の処理利用技術は、家畜飼養規模の拡大、飼養方式・技術開発の進展、給与飼料の改善・多様化、家畜能力の向上、新たな排せつ物処理技術の導入等にともない、大きく変化してきた。このため、これらに対応した適切な畜産環境対策技術に関する総合的な設計基準について関係情報等を調査収集して編纂し、早急に畜産農家及び指導機関等の現場に普及する。

## 7 堆肥舎等長寿命化推進事業

経年劣化した堆肥舎等の長寿命化を図るため、独立行政法人農畜産業振興機構の補助事業で、堆肥舎等の経年劣化に関する実態調査及び経年劣化の補修の事例調査を行うとともに、堆肥舎等の長寿命化のための補修マニュアルの作成・配布を行う。

## 8 シンポジウムの開催

農林水産省と共催で畜産環境シンポジウムを7月に開催する。

家畜排せつ物堆肥を利用した土づくりの推進に向けて、堆肥の高度利用による化学肥料削減、堆肥利用の輪作体系による省力的土づくり、肥料取締制度の見直しによって生産可能となった混合堆肥複合肥料の開発、特別栽培における混合堆肥複合肥料の利用事例などを取り上げる

## 9 受託等事業

(1) 畜産環境技術研究所において、全国の堆肥センター等からの依頼により堆肥の成分分析検査を行う。

(2) 書籍の販売

当機構で編集・発行した畜産環境保全に関する書籍を販売する。

(3) 革新的技術開発・緊急展開事業（うち地域戦略プロジェクト）（農研機構の委託事業の実施者である畜産環境管理技術コンソーシアムの構成員として参加）

養豚生産性の向上を図るためには、悪臭対策改善による農家の大規模化加速が必要であり、畜舎内の有害物質・温湿度制御を有害物質の放出なしに行う技術が望まれる。このため、再生可能な新型高性能アンモニア吸着材を畜産用途に最適化したり、ICT技術により自動で畜舎環境を制御する技術を開発するとともに、生産効率・経営効率の定量的評価と普及用マニュアル整備を実施する。

## 収 支 予 算 総 括 書

(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	元年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入	1,100	1,100	0	
(2) 特定資産運用収入	10	10	0	
(3) 事業収入	3,218,852	3,747,352	△ 528,500	
(4) 補助金等収入	355,377	363,048	△ 7,671	
(5) 借入金収入	1,141,961	1,388,888	△ 246,927	
(6) 雑収入	1,832	7,932	△ 6,100	
(7) 特別債権収入	7,004	7,004	0	
(8) 他会計からの繰入収入	880	2,000	△ 1,120	
事業活動収入計	4,727,016	5,517,334	△ 790,318	
2 事業活動支出				
(1) 事業費支出	4,147,767	3,420,971	726,796	
(2) 保険料支出	35,993	160	35,833	
(3) 借入金支出	362,409	396,637	△ 34,228	
(4) 管理費支出	8,666	15,844	△ 7,178	
(5) 補助金等返還支出	421,788	1,871,801	△ 1,450,013	
(6) 他会計への繰出支出	880	2,000	△ 1,120	
事業活動支出計	4,977,503	5,707,413	△ 729,910	
事業活動収支差額	△ 250,487	△ 190,079	△ 60,408	
II 投資活動収支の部				
1 投資活動収入				
特定資産取崩収入	0	10,000	△ 10,000	
投資活動収入計	0	10,000	△ 10,000	
2 投資活動支出				
特定資産取得支出	7,000	7,000	0	
投資活動支出計	7,000	7,000	0	
投資活動収支差額	△ 7,000	3,000	△ 10,000	
III 財務活動収支の部				
1 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	
2 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	20,000	20,000	0	
当期収支差額	△ 277,487	△ 207,079	△ 70,408	
前期繰越収支差額	4,554,478	4,761,557	△ 207,079	
次期繰越収支差額	4,276,991	4,554,478	△ 277,487	

\*消費税率は、8%とした。

収支予算書総括表  
(平成31年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	畜産高度化推進リース事業										畜産汚水の発生・ 浄化における軽劣 型窒素低減システ ム開発・普及事業	畜産環境対策技術 総合設計基調調査 普及事業	堆肥舎等長寿命化 推進事業	財産管理 (基本財産管理協定)	受託等事業	合 計	
	畜産高度化支援リース事業				畜産経営環境対応 強化緊急対策事業	畜産環境対策 リース支援事業	畜産経営力向上 緊急支援リース事業	畜産クラスター機能導入 リース事業、畜産経営 生産性向上緊急対策リ ース事業、畜産労働力化 促進施設等緊急整備対策 リース事業、肉用牛経営 安定対策緊急リース事業 及び畜産経営改善総合 対策支援事業	持続的な畜産経営 確立のための環境 対策等リース事業	日本型悪臭防止施設 管理手法を用いた畜 産 悪臭軽減技術開 発 普及事業							高機能型異種堆肥 造粒物の調整・混 合利用技術の開発 普及事業
	事業勘定		管理勘定	畜産経営環境対応 強化緊急対策事業													
経営・食肉・ 生乳・旧貸付	畜産環境対策リース																
I 事業活動収支の部																	
1 事業活動収入																	
(1)基本財産運用収入																	1,100
(2)特定資産運用収入	10																10
(3)事業収入	2,588,284	2,556,385	31,899		8,968		429,846	152,810	21,321							17,623	3,218,852
(4)補助金等収入					783	35,750		185,185		27,815	31,569	27,227	25,855	21,193			355,377
(5)借入金収入					30,850			1,111,111									1,141,961
(6)雑収入	505	500															1,832
(7)特別債権収入	7,004	7,004															7,004
(8)他会計からの繰入収入					1,427,924				380			500					880
事業活動収入計	2,595,803	2,563,889	1,459,823	15	40,601	35,750	429,846	1,449,106	21,701	27,815	31,569	27,727	25,855	21,193	2,400	17,650	4,727,016
2 事業活動支出																	0
(1)事業費支出	2,843,476	1,638,869	1,204,607		31,208		8,000	1,113,688	92	27,241	31,412	27,432	25,295	21,193	1,080	17,650	4,147,767
(2)保険料支出					243	35,750											35,993
(3)借入金支出					6,569			335,110	20,730								362,409
(4)管理費支出										574	157	295	180		7,460		8,666
(5)特別債権支出																	0
(5)補助金等返還支出							421,788										421,788
(6)他会計への繰出支出		1,427,924											380				880
事業活動支出計	2,843,476	3,066,793	1,204,607	0	38,020	35,750	429,788	1,448,798	20,822	27,815	31,569	27,727	25,855	21,193	9,040	17,650	4,977,503
事業活動収支差額	△ 247,673	△ 502,904	255,216	15	2,581	0	58	308	879	0	0	0	0	0	△ 6,640	0	△ 250,487
II 投資活動収支の部																	0
1 投資活動収入																	0
特定資産取崩収入																	0
投資活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 投資活動支出																	0
特定資産取得支出	6,650	6,650														350	7,000
投資活動支出計	6,650	6,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	350	0	7,000
投資活動収支差額	△ 6,650	△ 6,650	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	△ 350	0	△ 7,000
III 財務活動収支の部																	0
1 財務活動収入																	0
財務活動収入計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2 財務活動支出																	0
財務活動支出計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IV 予備費支出	19,000	19,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000
当期収支差額	△ 273,323	△ 528,554	255,216	15	2,581	0	58	308	879	0	0	0	0	0	△ 7,990	0	△ 277,487
前期繰越収支差額	4,301,949	4,253,533	0	48,416	2,441	0	19,044	1,043	420	0	0	0	0	0	114,529	115,052	4,554,478
次期繰越収支差額	4,028,626	3,724,979	255,216	48,431	5,022	0	19,102	1,351	1,299	0	0	0	0	0	106,539	115,052	4,276,991